

■このプリントは、「文章検」を受けた皆さんの今後の学習の手助けになるものです。準2級レベルの内容を復習して実力を確かなものにし、さらに2級にもチャレンジしてみましよう。

■問題と解答用紙は別になっています。自己採点して、間違えた問題は「学習の手引き」や「考えるヒント」を参考に復習してください。

学習の手引き

問1

文脈上適切な語句を選ぶときには、意味だけでなく用法(使い方)にも注意しよう。

▼次の問題にも挑戦してみよう
公式テキスト準2級
6〜12ページ

問2

読解問題を解くときには、意味内容だけでなく、文や段落の役割や関係にも注意しよう。

段落相互の関係を考えるときには、左のコラムが参考になる。

▼次の問題にも挑戦してみよう
公式テキスト準2級
14〜20ページ

★段落相互の関係

文章中の段落がどのような関係にあるかをとらえるときは、次のような手順で行うとうまくできます。

手順1 段落ごとに書かれている内容を整理してまとめます。

手順2 まとめた内容をもとに、各段落の役割を考えます。

手順3 各段落の役割にもとづいてそれらの相互関係を考え、筆者がどのように論理展開しているのかをつかみます。

基礎問題

問1 次の1〜3の文について、文脈上最も適切な語句を、ア〜ウのうちから一つずつ選びなさい。

- 1 子どもの言葉の力をのばすためには、楽しい物語の本を声に出して (ア 読ませさせる イ 読ませる ウ 読まさせる) とよい。
- 2 宣伝も準備も十分でできなかったため、今年の市民文化祭は盛り上がりながら残念だったというのが、私の (ア 巧まざる イ 偽らざる ウ 凶らざる) 感想だ。
- 3 長年のあいだ研究に没頭したA教授は、恩師であるB氏を超えるすぐれた業績を残したので、(ア 青は藍より出でて藍より青し イ 餅は餅屋 ウ 三つ子の魂百まで) とたたえられた。

読解問題

問2 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

贈り物といえば、何かの記念日や行事など、特定の日や時期にするものだというイメージを持っている人は多いだろう。ところがそれは別に、「プチギフト」と称するちょっとした贈り物が若者に人気だという。この「プチギフト」には、一体どんな魅力があるのか。【段落A】
一般的に、贈り物をする際には、その理由が比較的はつきりとしている。中元などは世話になった人へのお礼として、誕生日プレゼントは、その人を祝うためだ。だが、最近人気が広まっているプチギフトは、特別な理由はなくても、「おいしかったからあなたも食べてみて」とか、「かわい小物を見つけたからどうぞ」という気持ちできっかけにする贈り物だ。だから、少額の物が利用されることも多く、贈る側、贈られる側双方にとって、金銭的、精神的な [] が少ない。

【段落B】

また、贈り物をするという行為は、贈る側と贈られる側がいて初めて成り立つわけだが、その点においても、プチギフトは、従来の贈り物とは一味違う。他人への贈り物としてだけでなく、自分から自分にあてて贈ることもあるからだ。「今日一日がんばった自分へのご褒美」とか、「自分への応援」として購入する。贈ることと受け取ることを自分一人で完結させる、自分が主役となる贈り物である。【段落C】
誕生日プレゼントにせよ、中元・歳暮にせよ、贈り物の主な目的は、相手とのよりよいコミュニケーションを求めることにあるだろう。相手を思う贈る側の気持ちを伝える行為だ。だが、時と場合に関係なく、自分が贈りたいと思った時に、贈りたい物を、贈りたい人に贈るプチギフトの最大の魅力は、贈り物にかかわる一連の行為を贈る人自身が楽しむことにあると言えそうだ。

【段落D】

1 空欄に入る語として最も適切なものを、ア〜ウのうちから一つ選びなさい。

- ア 出費 イ 消耗 ウ 負担

2 傍線部「一味違う」の文脈上の意味として最も適切なものを、ア〜ウのうちから一つ選びなさい。

- ア 従来の贈り物よりも安価で、味が劣っている
- イ 従来の贈り物にはない性質がある
- ウ 一度贈り物をする、また贈りたくなる

3 段落Aと段落Dの関係の説明として最も適切なものを、ア〜ウのうちから一つ選びなさい。

- ア 段落Dは段落Aで示した話題を理解しやすくするために、背景となる知識を解説している。
- イ 段落Aと段落Dはひとまとまりになって抽象的な主張をしており、他の段落の具体的な内容と対立している。
- ウ 段落Aはこの文章全体にかかわる問題を提起しており、段落Dではその問題について解答を述べている。

考えるヒント

問1

- ◆1 使役の助動詞には「せる」と「させる」があり、直前の語に応じて使い分ける。
- ◆2 「率直な」という意味になる表現はどれ？
- ◆3 A教授がたたえられた理由にふさわしい語句を選ぼう。

問2

◆1 空欄の前後の語句をよく見て、最も適切な語が入るよう選ぶ。

◆2

傍線部の語の文脈上の意味を知るためには、段落Cの傍線部以下の内容を理解することが欠かせない。そこに書かれている内容に、最もよくつながるものを選ぶ。

◆3

各段落の役割をよく考えて、段落の相互関係を確認しよう。まず段落Aでは、筆者がプチギフトの「魅力」に関する疑問を提示している。その後の段落B・Cでは、その「魅力」を生み出す原因についてそれぞれ説明を与えている。そして最後の段落Dでは、そこまでに述べた内容をふまえて、疑問への解答を述べている。

問3 手紙を読む人の立場や気持ちを考えながら、書く内容を手紙の目的に合わせて選ぶ必要がある。

問4 手紙文には欠かせない、敬語や独特の言い回しなどについて、正確な知識を持つとう。

▼次の問題にも挑戦してみよう
公式テキスト準2級
32～36ページ

問5 準2級の論説文では、第4段落で自分の意見とは異なる意見を取り上げて、それに反論する。これは、異なる意見の問題点を指摘して、自分の意見のほうが優れていることをより強く示すためのものである。

問6 異なる意見を想定して取り上げ、それに反論するために、「ブレン・ストーミング」を活用しよう。異なる意見と、それを論理的に否定できる材料を見つげるために、どんな思いつくことを書き出していくとよい。

▼次の問題にも挑戦してみよう
公式テキスト準2級
38～47ページ

作成問題1(手紙文)

問3 プレゼントをくれた相手に出すお礼の手紙の内容を、箇条書きのメモにして書き出しました。この中で、手紙に書く内容としてふさわしくないものを、ア～エのうちからすべて選びなさい。

ア 相手くれたプレゼントは、自分が前から欲しかったものだということ。
イ そのプレゼントと同じものを、自分はすでに持っているということ。
ウ なぜ持っているかという点、バーゲンで安く売っていて、簡単に買ったからだということ。
エ プレゼントの品物だけでなく、贈り主の気持ちもありがたいということ。

問4 次の1～3の文について、最も適切な語句を、ア～ウのうちから一つずつ選びなさい。

1 いつも当店をご利用いただき、ありがとうございます。(ア) ですが (イ) ところで (ウ) ところが、以前にお客様がご購入を検討なさっていた新製品が、本日当店に入荷いたしました。
2 先生が私たちの公演を(ア) 拝見なさる (イ) 見ていただく (ウ) ご覧になる) のは初めてだとおうかがいしました。そこで、先生に心をこめた演技をお見せしたいと思います。
3 来週の日曜日に、当団地自治会の次期役員を選出します。つきましては、(ア) 遺憾ながら (イ) まことに勝手ながら (ウ) 万障お繰り合わせの上) ご出席くださるようお願いいたします。

作成問題2(論説文)

問5 次の「意見」と「理由」に対する、「異なる意見」とそれへの「反論」の組み合わせとして最も適切なものを、ア～ウのうちから一つ選びなさい。

意見 「一度学んだことを復習するのは、できるだけ早いほうがよい」
理由 「早いほうが記憶に残っていることも多く、効率的な復習ができるからだ」

ア 異なる意見 「一度学んだことを復習するにはいつごろがいいのか、一概には言えない」

イ 異なる意見 「一度学んだことは、できるだけ早く、繰り返して復習するのがよい」
反論 「繰り返ししているうちに自分が知っていることばかりになってしまっているので、時間のむだになる」

ウ 異なる意見 「一度学んだことは、しばらく時間をおいて、忘れたところに復習するのがよい」
反論 「それでは新たに学習するのと同じで、以前学ぶために費やした時間がむだになる」

問6 「買いたいものがあるときは、自分で実物を手にとって確かめるべきだ」という意見に関して思い当たることを、思いつくままに箇条書きで書き出しなさい。(9個以上)

- 手がかり
- ・買う品物を実際に見ないで買うには、どんな方法があるだろうか？
- ・靴や服など、身につけるものを買うときに、通信販売を利用することはある？
- ・品物を実際に手にとってみたときに、買いたい気持ちが強まることはある？
- ・販売店まで出向いて買うのと、送料を払って品物を家で受け取るのでは、何が違う？
- ・買おうと思っている品物を手にとってみると、どんなことがわかる？
- ・どれを買うのか選んだり、比べたりするときは、何が手がかりになる？
- ・買いたいと思っっているものを手にとるためには、どれだけのコストがかかる？
- ・実際に見ないで買った後でその品物を見たときに、何か予想と違っていたことはある？

考えるヒント

問3 ◆手紙を読む人の行為をだいなしにしてしまったり、気分を害してしまったりすることは手紙に書く内容としてふさわしくない。

問4 ◆お礼や安否のあいさつの後に、手紙の用件を述べる場合には、話題を転換する「ところで」「さて」などの接続詞を用いる。

◆「拝」ではじまる熟語には、自分の動作に謙譲の意味をそえて示すものがある。拝見・拝読・拝観・拝啓(啓)は「申す」の意味など。

◆「遺憾」は「残念・気の毒」などの意味。「万障」は「いろいろな不都合」の意味。

問5 「異なる意見」は、自分の意見と明らかに異なっていて、かつ自分がしっかりと反論できるものを選ぶのがコツ。自分の意見と両立可能であるものや、ずれた主張をしているものを選んでしまうと、自分の意見の優位性を示せなくなる。

問6 4段落構成である準2級の論説文を書くための材料を探すときにも、ブレン・ストーミングをうまく活用するとよい。
ブレン・ストーミングを通じて、いろいろな立場から物事を考えられるようになる。